

今市浄水場の更新工事を実施します



今市浄水場とは

飲用水の不足や伝染病の発生などの問題から、大正元年に大谷川を水源とする今市浄水場（緩速ろ過方式）の建設が決定し、大正2年に着工しました。大正5年3月1日、全国で31番目の水道として、市内への通水を開始し、現在では、市内北西部の約18,700戸へ水道水の供給を行っています。

今市浄水場更新工事について

大正5年の通水開始から100年以上経過しているため、令和4年から令和17年にかけて更新工事を行い、従来の緩速ろ過方式を継承し、併せて耐震化を図ります。



地震への備えもバッチリ！
新しく生まれ変わる今市浄水場にご期待ください☆



今市浄水場更新工事について 問 水道建設課 施設管理グループ ☎633-3405

今市浄水場 水道資料館の展示物の紹介

今市浄水場の敷地内にある水道資料館では、水道についての様々な資料を展示しています。今回は展示物の一部を紹介します。見学もできますので、詳しくは今市浄水場までお問い合わせください。



携帯用電話機



大正2年製造の水道メーター

貴重な資料がいっぱいあるよ！
みんなで見に来てね！



今市浄水場について 問 水道管理課 今市浄水場 ☎0288-21-0158

災害に強い水道施設へ

地震等の災害時においても安定した給水ができるよう、水道水をつくる浄水場などの「基幹施設」や、河川から取水した水を浄水場に運ぶ導水管などの「基幹管路」の耐震化を、計画的に進めています。



本市の約6割に水道水を供給している松田新田浄水場
(基幹施設の鉄骨補強)



水源と松田新田浄水場をつなぐ導水管
(基幹管路の布設替え)

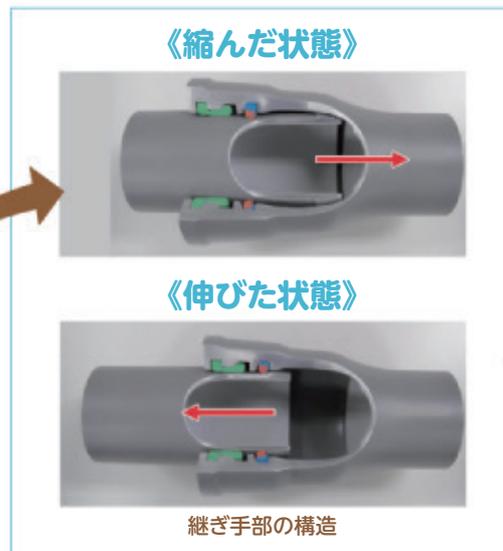
また、浄水場から皆さんのご家庭や職場、学校などへ水道水をお届けする水道管についても、経年劣化や地震の影響により破損し、漏水する可能性があるため、耐震性がある管に更新しています。

耐震性がある管とは？

水道管は1本あたり4～6mの管が繋がって構成されています。管と管の継ぎ手部は、地震による地盤変動に対応できるよう「伸縮性」と「離脱防止機能」を持っています。



耐震管吊り下げ試験(日本ダクタイル鉄管協会 提供)



災害に備えているよ!



問 水道建設課 管渠整備グループ ☎633-3408

貯水槽水道の適正管理のお願い

上下水道局では安全・安心な水をお届けするために、貯水槽水道の適正な管理をお願いしています。

貯水槽の適正管理

貯水槽水道の設置者及び管理者は年に1回、貯水槽の清掃・点検を実施しましょう。貯水槽を適正に管理していないと貯水槽内に雨水やゴミ、虫が混入するなど、水質が悪化する場合があります。



清掃前



清掃後

貯水槽の定期検査や
清掃・点検について

局HPから定期検査実施機関の一覧をご覧いただけます。

問 水質管理課 計画指導グループ ☎633-2001

宇都宮市 貯水槽 検索